

■実施目的

2019年3月に策定した「石狩市地域公共交通網形成計画」に基づき、計画で定めた目標「公共交通空白地住民の移動環境の向上」を図るため、**地域住民との意見交換**を行い、公共交通に対するニーズや地域の実態に則した**日常的な移動環境の確保**に向けた取組内容を検討することを目的として開催する。

■対象地域

公共交通空白地の中で、かつて路線バスが存在していたものの廃線になってしまった地域、公共交通への地元要望が強い地域である、**生振地区**を今年度意見交換を行う対象とする。

■内容

- ① **公共交通に関する現状・課題について**
既存統計やアンケート結果による地域の概況と公共交通の利用実態・ニーズについての説明
- ② **近年の公共交通に関する動向等の事例紹介**
厚田区の公共交通空白地有償運送（NPO）や次世代モビリティ等を紹介
- ③ **意見交換**
地域が抱える課題や事例をふまえた意見交換

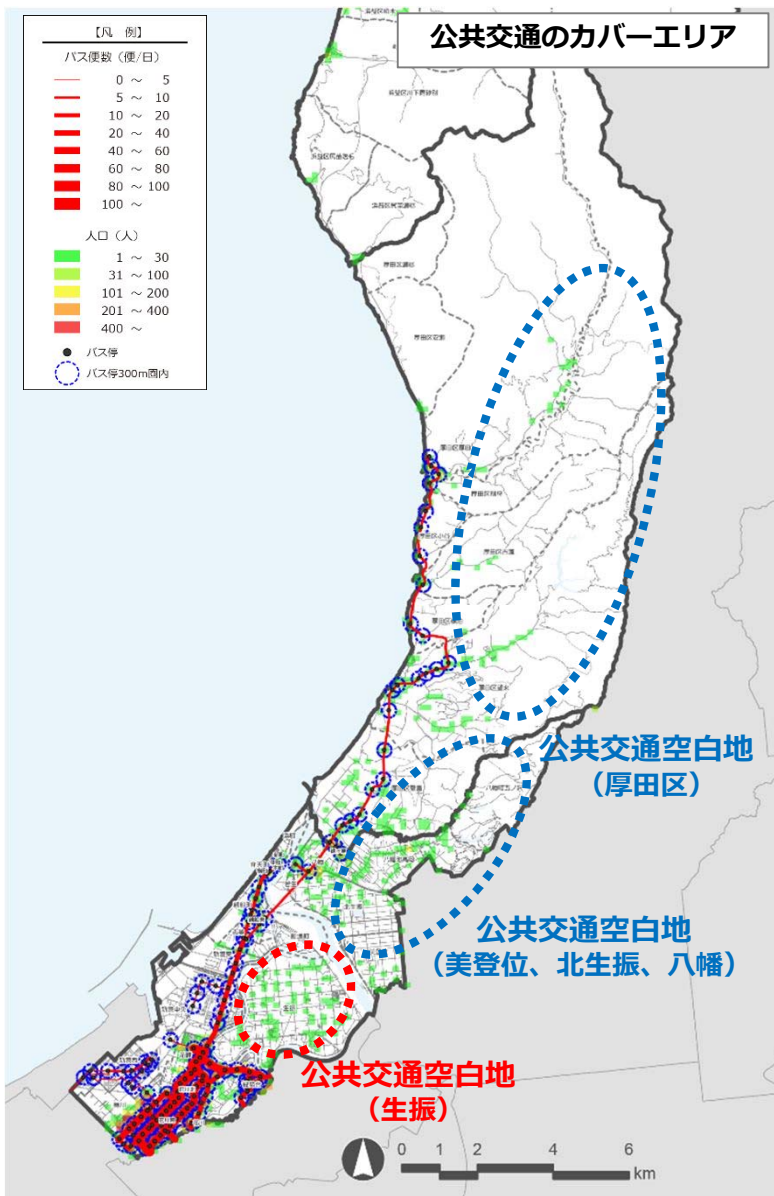
意見交換会の開催イメージ



2018.10.1 地域懇談会（厚田）



2018.10.4 地域懇談会（石狩）



■開催時期

2020年3月上旬

■意見交換会に関する今後の予定

第1回協議会
(2020年2月19日)

・意見交換会実施の概要の説明

生振地区意見交換会
(2020年3月上旬)

・地域のニーズや実態に則した公共交通についての意見交換

第2回協議会
(2020年3月24日)

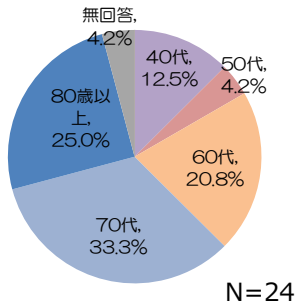
・意見交換会の結果報告
・次年度以降の取組内容についての議論

H30市民アンケート集計結果(生振地区)

1. 回答者属性

1-1. 年齢

- 回答者の約8割が60代以上の高齢者

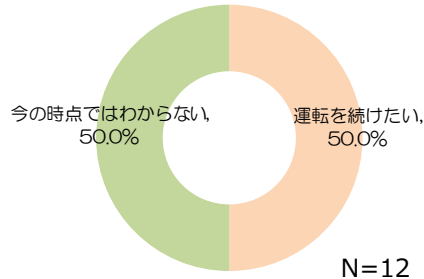


2. 運転意向

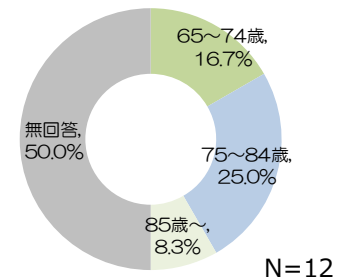
2-1. 運転意向

- 自家用車の運転を続けたいと考えている人が5割
- 続けたいと回答した人のすべてが65歳以上の高齢になっても運転を続ける意向がある

▼運転意向



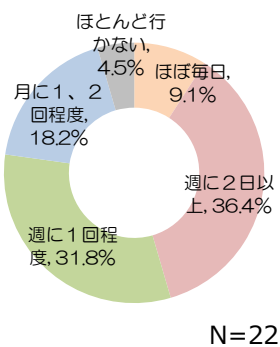
▼運転を続けたい年齢



3. 買い物

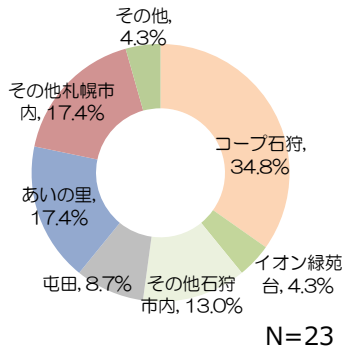
3-1. 買い物に行く頻度

- 回答者の約8割が週に1回以上は買い物に出かけている



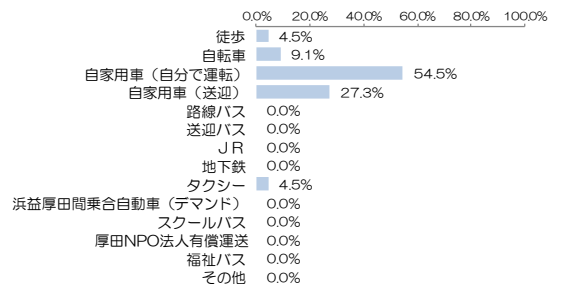
3-2. 買い物先

- コープさっぽろいしかり店へ訪れる人が3割程度と最も多い



3-3. 移動時の交通手段

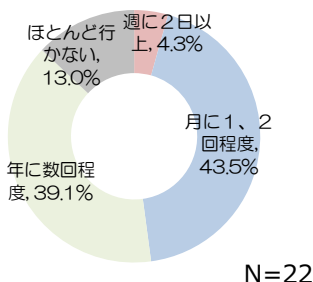
- 自家用車で買い物に出かける人が最も多い



4. 通院

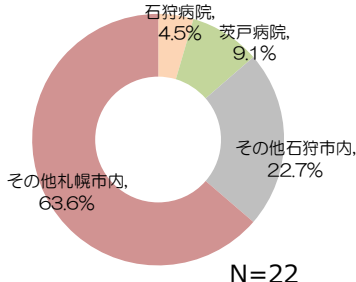
4-1. 病院に行く頻度

- 病院に行く頻度は月に1、2回程度以下の人が大半を占める



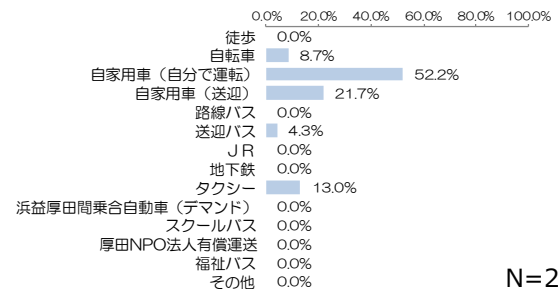
4-2. 通院先

- 札幌市内の病院に通院している人が6割以上



4-3. 通院時の交通手段

- 自家用車で買い物に出かける人の他、送迎バスやタクシーを利用する人もいる



5. 自由回答

年齢	性別	意見・要望
60	女性	バスが廃止されてもう長いです。交通手段が車しかなく、車のない人は移動するのにとても不便に思う。
55	女性	公共の交通機関に期待していない。本数が少なく、天候(冬季)によって遅延や運休があり、定期的には利用しようと思わない。
70	女性	生振には公共交通がなく、今のところは自動車移動出来るし、それが普通になっているので良くわかりませんでした。
65	女性	生振はバスの運行は早くからないですが、小さなマイクロバスの運行を考えて欲しい。公共交通として無理であれば、買い物目的のスーパー運行のマイクロバスが年を重ねた時あれば重宝します。